論文種別

原稿作成の際は、赤字の部分は削除してご使用ください

題目（和文）

題目（英文）

Abstract

※200語程度で記載する

key words:

キーワード：

※内容を表す語を3～5語

目　的

※本文中の句読点は「、」「。」を用いる

方　法

結　果

※分析結果を記載する際は、原則として効果量を記載することが望ましい。

※相関係数やα係数のように、絶対値が1を超えない数値については「.56」のように整数桁を記載しない。標準偏差等、理論上１を超える場合がある数値については、1未満の値でも「0.86」のように標記する。

※英数字は基本的に半角で記載する。

※*N*、*M*、*SD*、*t*、*F*、*r*、*d*、*R2*などの統計記号はイタリックで表記する。ただし、α、β、ωなどギリシア文字はそのまま表記する。

※分析結果を記載する場合など、「( )」「=」や不等号の前後に英数字が入る場合、、以下の例のように記号の前後は半角スペースとする。また、「,」は後ろのみ半角スペースとする。

例　*t* (198) = 5.26, *p* < .001

※サンプル全体は*N*で、サブサンプルは*n*で表記する。例えば調査対象が全体で300名、内訳が男女各150名の場合、*N* = 300 (男性: *n* = 150, 女性: *n* = 150となる)。

※信頼区間については、95%CI[.13, .26]のように標記し[]内にそれぞれ下限、上限を記載する。

考　察

引用文献

注

※注がある場合は、引用文献の次のページに通し番号順に記載する。

付記

※謝辞や研究助成、利益相反等に関する情報は、付記として注に続けて記載する。

※TableやFigureは、論文の末尾に1枚の用紙に1つずつ添付する。論文の末尾への掲載が困難な場合は、本文とは別のファイルを作成し、電子投稿システム上で提出することもできる。

その他の留意事項

これ以降は補足のためのページです。論文投稿時は削除してください。

●見出しの記載法

※見出しは大見出し、中見出し、小見出しの3段階とする。大見出しは行の中央に記載し、前後を1行空ける。中見出しは行頭から記載し、見出し後は改行をする。小見出しは行頭から記載し、行頭は１文字空ける。小見出しの後は改行せず、1文字空けてから本文を続ける。なお、いずれの見出しもゴシック体で表記し、見出しに通し番号は記載しない。

○記載例

方　法

質問紙の構成

　コミュニティ感覚尺度　石盛 (2004)によるコミュニティ意識尺度を用いた…

　自尊感情　…

●Table・Figureの記載

※Tableは、Table の上に Table 番号と Table の題を書く。番号の後は改行し、番号、題とも左寄せとする。また、Table 番号のみ、**Table 1**のように太字とする。

※Figureも同様に、Figure の上に Figure 番号と Figure の題を書く。番号の後は改行し、番号、題とも左寄せとする。また、Figure 番号のみ、**Figure 1**のように太字とする。

※TableやFigureの挿入位置は、記載例の通り欄外に指定する。ただし、挿入位置を事務局に一任する場合は指定をしなくても良い。

Table 1

●著者の特定につながる可能性のある内容の記載

※著者の特定につながる可能性のある内容を記載する場合、採択が確定するまでは、以下の例のように伏せた形で記載する。

○記載例

本研究は、●大学の研究倫理委員会の承認を受けて実施された (承認番号●)。

●注の記載

※本文中の注は以下の通り記載する。

○記載例

　まずコミュニティ意識尺度の各下位尺度得点1間の相関係数を算出した。

※論文末尾の注は以下の通り記載する

○記載例

注

１　本研究における調査対象者の特殊性から、分析に先立ち、改めてコミュニティ意識尺度の因子構造を確認するため、最尤法プロマックス回転による因子分析を行った。その結果、先行研究 (石盛, 2004)と同様の因子構造が再現されたため、本研究では石盛 (2004)と同様の因子構造を採用した。

２　．．．

●付記の記載

※研究助成や謝辞、利益相反については、「付記」として記載する。著者の特定につながる可能性のある内容を記載する場合は、採択が確定するまでは、以下の例のように伏せた形で記載したり、記載を省略したりしてよい。

○記載例

付記

本論文に関して、開示すべき利益相反関連事項はない。

本研究はJSPS科研費●を受けて実施された。

本研究の実施に際してお力添えいただきました●●先生 (●大学)に心よりお礼申し上げます。